

インナー大会 プレゼン部門 2019 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学名 (フリガナ)	学部名 (フリガナ)	所属ゼミナール名 (フリガナ)
フリガナ) タクシヨクダイガク	フリガナ) ショウガクブ	フリガナ) ナカシマゼミナール
拓殖大学	商学部	中嶋ゼミナール

※大会申込書に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画を使用している場合は「有・無」を記入し、「有」の場合は使用するスライド番号も記載してください。

チーム名 (フリガナ)	代表者名 (フリガナ)	チーム人数 (代表者含む)	PPT 内動画 (有・無)	動画使用 スライドページ
フリガナ) ナカシマゼミインナーグループ アイ	フリガナ) タケムラ ショウ	5	無	
中嶋ゼミ AI	竹村 翔			

※当日使用する PC、マイク、レーザーポインター機能付きワイヤレスプレゼンターは会場に準備しております。

これらは個別にご用意いただいても大学施設・設備の関係上ご利用いただけませんのであらかじめご了承ください。

発表時に使用する成果物 (例: 商品化した●●、店舗で配布したパンフレット、調査時に使用したアンケート)

無し

※成果物の配布は、『禁止』とさせていただきます。

研究テーマ (発表タイトル)

より良い大学を目指して - 大学とインターネットとの新たな未来の可能性について -

※必ず<企画シート作成上の注意>を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要 (目的・狙いなど)

私たちが今現在 4 年制大学に通っている中で、中退者が増加していることが問題となっています。今回はなぜ、中退者を出してしまうのかということ、様々なデータを用いて、現在の状況や課題、解決と順を追って考えていきたいと思っております。

2. 研究テーマの現状分析 (歴史的背景、マーケット環境など)

現在の 4 年制大学の中退者の現状として 4 年間で約 10%の学生が中退しています。その理由に学業不振や無関心、進路変更などがあげられます。

3. 研究テーマの課題

上記のような状況分析した中で、学業不振や無関心、進路変更などは大学側の施行によって改善できるのではないかとこのことを今回のテーマとし、解決へ導くうえでの新提案を出していきたいと思っております。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

私たちは、なぜ学業不振や無関心、進路変更に繋がってしまうのか考え、4年制大学の決まった固定の時間割で受講することや時間的弊害、授業への不参加時や天災など授業を受講できない場合などによる授業を受講する上でのリカバリーの不充実さがあげられ、時間や場所、環境に制約があるのではないかと考えました。そこで私たちは、インターネットだけで講義をし、大学卒業資格を取得が可能なサイバー大学様に協力をお願いし話を聞きに行きました。現在サイバー大学様は、E-learning システムという他大学の講師や外国にいる講師の動画授業をお互いが協力、交換または売買をして、学びの幅を広げる仕組みを利用し、講義を行っています、私たちも一般の講義に補助的に活用することで、上記のような時間や場所の制約から解放されると考えます。また、なぜサイバー大学様に協力をお願いしたかという、インターネットというパソコンでの講義を受講するため、好きな時間で勉強することが可能であり、時間の制約はないと考え、4年制大学でも活用することが出来れば、上記で説明した時間的、場所的弊害が解消できるのではないかと考えたからです。サイバー大学様で行われている E-learning システムがこれらの問題の改善策に繋がると考えています。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

サイバーユニバーシティ株式会社 サイバー大学様へご協力いただき、話を聞きに行きました。

6. 結果や今後の取り組み

私たちは上記の内容から E-learning システムを4年制大学で補助的に活用し、学業不振や無関心、進路変更などの中退に結びついてしまう可能性を軽減することを期待します。

7. 参考文献

大学とは何か

著者：吉見 俊也

発行者：山口 昭男

発行所：岩波書店 印刷：株式会社 三陽社

発行年数：2011年 7月20日

・教育とは何か

著者：大田 堯

発行者：緑川 亨

発行所：岩波書店 印刷：株式会社 三陽社

発行年数：1990年 1月22日

・学校教育 3.0 国民国家型教育システムから

資質・能力重視システムを経て持続可能社会型教育システムへ

著者：諏訪 哲郎

発行所：株式会社 三恵社

発行年数：2018年 4月11日

参考：独立行政法人労働政策研究・研修機構「大学等中退者の就労と意識に関する研究」平成27年5月27日

<企画シート作成上の注意>

※本企画シートは審査の対象となり、予選会・本選の前に、実行委員会から審査員(ビジネスパーソン・大学教員)の方々に事前にお渡しいたします。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。また、インナー大会終了後、プレゼン部門にご協力いただいている日経ビジネス様（株式会社日経BPマーケティング）に大会結果ページを作成いただいております。大会結果ページにはチーム名やご提出いただいた本企画シートが掲載されます。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1～7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナー大会プレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、4ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、4ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、チーム編成の変更(チームの人数・交代など)は、「不可」とさせていただきます。ただし、チームメンバーの留学等やむを得ない事情でチーム編成に変更が生じる場合は、実行委員会(プレゼン局)にご連絡ください。実行委員会側で協議のうえ、ご返答いたします。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経BP社・株式会社日経BPマーケティングは一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

※パワーポイント内で動画を使用する場合は、必ず「有」とご記入ください。「有」の場合は使用するスライド番号も明記してください。動画を使用する際の注意事項は参加要項に記載しております。

※成果物を使用する場合は、必ず企画シートにご記入ください。企画シートにてご記入が無い場合、発表当日のご使用を「不可」とさせていただきます。あらかじめご了承ください。

↑ ここまでを4ページ以内におさめて、ご提出ください